

いわき会場	小学校80名・中学校40名
二本松会場	小学校58名・中学校21名
計	小学校 215名・中学校98名
合計	313名

⑥ 講習同容

- ア. 講演「欧米における数学教育現代化の動向」
- イ. 講義
 - ・小学校
算数教育の動向と問題点
数学的な見方・考え方について
教材研究のすすめ方 算数科学習指導法の改善
 - ・中学校
数学教育の問題点と学習指導法の改善
集合について 命題と真理集合について
確率と統計について
- ウ. 授業研究

教職員研究奨励

(1) 目的

本県児童、生徒の学力向上に関連して、教職員の積極的な学術的研究ならびに教育実践的研究を奨励し、本県教職員の資質の向上、ひいては本県教育の振興をはかることを目的とする。

(2) 応募資格

県内公立小・中学校ならびに県立高等学校教職員

(3) 応募者数

小・中学校関係………11名
高等学校関係………17名 計28名

(4) 採択者及び研究主題

- ① 研究主題
「精神薄弱児の思考過程の研究」
福島市立福島養護学校教諭 中丸 良彦外4名
- ② 研究主題
「石川町の地質教材の効果的な学習指導」
石川郡石川町立石川中学校教諭 三森たか子外2名
- ③ 研究主題
「駒止峠湿原群（大山湿原）における植物群落の研究」
南会津郡田島町立長野小学校教諭 五十嵐徳三
- ④ 研究主題
「数学科における授業過程をどう考えるか」
安達郡本宮町立本宮第二中学校教諭 桑名 孝雄
- ⑤ 研究主題
「家庭学習の組織化」
相馬郡小高町立福浦中学校教諭 岡田 行雄外3名
- ⑥ 研究主題 「28の推定強度に関する研究」
福島県立二本松工業高等学校教諭 大藤 建生
- ⑦ 研究主題
「判例を中心とした商業法規教育に関する研究」
福島県立郡山商業高等学校教諭 菅野 耕穀
- ⑧ 研究主題
「郷土における曾良隨行日記の実証的研究」
福島県立須賀川女子高等学校教諭 金谷 兼男
- ⑨ 研究主題
「日本農業（農村問題）の現状理解のための農業政策

の立法史的考察」

福島県立小高農業高等学校教諭 山尾 良雄

⑩ 研究主題

「汎用測定器による測定誤差の研究」

福島県立平工業高等学校教諭 山口 真一外1名

以上10名の研究が採択されたが、採択外となつた研究も含めて、各研究ともきわめて充実した内容を持ち、本県における教育水準の向上のために有効なものである。

第3節 教育課程

教育課程は小・中・高等学校とも完全に実施され、じゅうぶんその趣旨が徹底されている。なお、その実施にともなう指導上の諸問題を研究し、その解明を図って教職員の指導力の向上に資するため、小・中学校では教育研究協議会を、高等学校では教育課程研究集会を開催した。

I 小学校

(1) 目的

小学校教育において当面する教育課程実施上の諸問題について、組織的な研究を行ない、全県的な視野にたって研究協議し、本県小学校教育の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上に資する。

(2) 主催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会、関係市町村教育委員会

(3) 期日・期間

① 地区集会 昭和43年7月24日(火)の1日間
② 県集会 昭和43年10月14日(月)～15日(火)の2日間

(4) 会場

① 地区集会 各教育事務所ごとに会場を設定する。
② 県集会 国見町立藤田小学校外12会場

(5) 参加者数

国・公・私立の教員とし、各会場の参加者数は別表のとおりである。

(6) 研究協議会の運営

① 部会を次のとおり設け、参加者はそれぞれひとつの部会に所属して研究する。

国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳、特別教育活動、学校行事等、視聴覚、教育評価

② 各部会ごとに「事前研究の手びき」で示された研究問題を中心として研究する。

③ 日程

ア. 地区集会

9.00	9 20	9 50	12.00	13.00	15.00	16.00
開会式	オリエンテーション	部会	昼食	部会	閉会式	

イ. 県集会

日時	9 00	9 30	10 15	15 20	15 30
第1日	開会式	指定授業	部会	昼食	部会
第2日	部会		部会	閉会式	